

専科だより

令和元年5月7日 第2号
平野小学校
校長 葛谷 裕治
音楽 堀江 真澄
図工 川田 真基子
算数少人数 鶴谷 浩二



新年度がスタートして、1か月がたちました。どの学年の子供たちも進級した緊張感の中で、意欲的に活動しています。

専科だよりでは、今年度もいろいろな学年の学習の様子をお知らせします。図工は、2年生からです。

「おもしろいかお」2年

紙を半分に折って、目・鼻・口をはさみで切り抜き、広げると顔ができ上がっているという紙工作です。毎年スタートの時期に取り組む題材で、単純な仕組みですが、意外な形ができ上がり、子供たちは楽しんでいました。教室前に掲示していただく予定ですので楽しみに！



「ライオンのたてがみ」2年

セロハンテープや紙テープを手でちぎるのは難しいのだなと感じることが多くなって始めた題材です。紙ガムテープを手でちぎってライオンのたてがみを表します。ただちぎるだけでなく「たてがみのように」ちぎります。ライオンがどこで何をしているのか分かるように工夫してクレヨンで描きました。顔や体は絵の具の黒に赤か黄色か青を混ぜて「色々な黒」を作ってぬりました。



図工の持ち物について

図工の授業では、題材ごとに様々な持ち物の用意が必要です。次回の持ち物については、いつも前回の授業の終わりに連絡ノートで伝えています。忘れ物をして困るのは自分ですが、担任の先生が声掛けしてくださったり、おうちの方が前もってそろえてくださらないと、きちんとそろえるのが難しいお子さんもいるようです。前回お伝えした「のり」などもきちんとビニール袋に入れて図工バッグの中に入れてくださっているおうちの方もいて、本当に感謝いたします。こういったことに支えられて子供たちの図工の力が育っていくのだと、あらためて感じます。ありがとうございます。また今後ともよろしく願いいたします。



家庭数

～4月の学習を紹介します～

今年度の学習がスタートして2週間がたちました。新しい教室にも慣れ、子供たちは元気に学習に取り組んでいます。今月は、5年生の学習を紹介します。

「整数と小数」

4年生で学習した、整数を10倍や10分の1にしたときの位の変化を小数の場面でも考え、10倍・100倍や10分の1・100分の1したときに位や小数点がどのように移動するかを学習しました。

まず、小数点の意味について何となく分かっているけれど、言葉で説明しようとするのが難しいようでした。次に10倍・100倍・1000倍したとき、10分の1・100分の1・1000分の1したときの小数点の動き方に混乱しているようでした。

★小数点・・・一の位と10分の1の位（小数第1位）、つまり整数の位と小数の位の境目を表す点です。ですので、小数点の左側は必ず「一の位」、右側は10分の1の位になります。

★位と小数点の動き

- 10倍したとき ⇒位が1つ上がる（小数点が1つ右に動く）
- 100倍したとき ⇒位が2つ上がる（小数点が2つ右に動く）
- 1000倍したとき ⇒位が3つ上がる（小数点が3つ右に動く）
- 10分の1したとき ⇒位が1つ下がる（小数点が1つ左に動く）
- 100分の1したとき ⇒位が2つ下がる（小数点が2つ左に動く）
- 1000分の1したとき ⇒位が3つ下がる（小数点が3つ左に動く）



～4月の学習の様子をお伝えします～

今月は2年生と6年生です。

2年生は初めて音楽室で行う音楽の授業でした。あそびうたを聴いたり歌ったり、音楽に親しむことから始めました。「子犬のピンゴ」は手拍子の数が増えていく歌です。とても楽しそうに手拍子を打ち、リズムにのって歌っていました。「かくれんぼ」は「もういいかい」「まあだだよ」と呼びかけ合う歌です。呼びかける人、答える人で声の強弱を工夫していました。「桃太郎」では友達と手を合わせながら歌い、最後にじゃんけんをしました。音楽は楽しいものだと思える授業を心がけていきます。

6年生は4月の音楽朝会で「光の空へ」の二部合唱を発表しました。口を大きく開けて歌うことが段々できるようになってきました。授業では「おぼろ月夜」を歌いました。歌詞の意味を理解するのが難しそうでしたが、日暮れからおぼろ月夜の出た夜へと移っていく春の情景を思い浮かべながら歌いました。

今月の歌

5月の歌は運動会で歌う「ゴーゴーゴー」です。子供たちの大好きな歌で、1回目の練習からとても元気よく歌うことができました。それぞれの組が力を発揮できるように、運動会当日も力の限り、高らかに歌い上げる姿をぜひ楽しみになさってください。